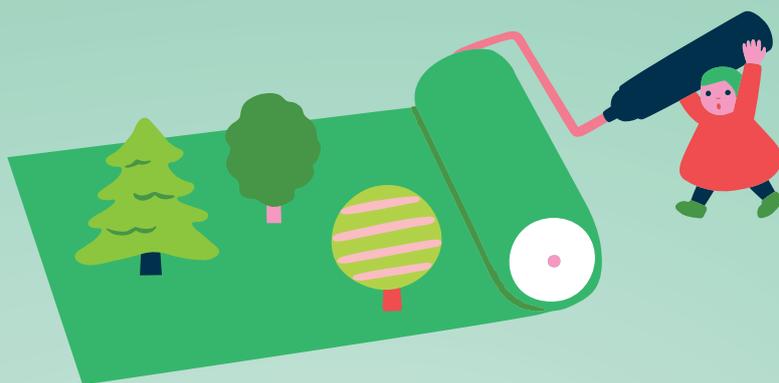


基本計画 2035



第1章

10年後の板橋区のまち



第1章 | 10年後の板橋区のまち

基本構想では将来像を「未来をひらく 緑と文化のかがやくまち“板橋”」と掲げており、将来像が実現されたまちの姿を「誰もが幸せを実感している」、「つながりと愛着がはぐくまれている」まちとしています。

基本構想の実現に向けて策定する板橋区基本計画2035(以下「基本計画」)では、「将来像が実現されたまちの姿」を以下のとおり、イメージを含めて表現することで、すべての基本政策でめざす方向性を統一し、それぞれの施策を総合的に推進していきます。また、実現に向けて分野横断的に取り組んでいく戦略については、実施計画で掲げることとします。

基本構想で掲げる「将来像が実現されたまちの姿」



子どもから高齢者まで、地域の中で誰もが居場所と役割を持ち、生きがいを感じながら暮らしています。世代を問わず、様々な背景を持つ人々が地域の中で自然に交流し、支え合っており、すべての人が生涯にわたって活躍できる共生社会が実現しています。

絵本文化などの地域資源を活かした創造的な活動が日常に溶け込み、多様な文化や芸術の交流が生まれています。区民一人ひとりの個性と発想が大切にされ、文化芸術を通じた活動が盛んになることで、区内外から人や資源を呼び込み、地域に活力が生まれています。

育まれてきた自然・歴史・文化が引き継がれ、板橋らしいまちなみが広がっています。これらの空間では、子どもから高齢者まであらゆる世代が暮らし、働き、学び、楽しみ、憩う場として、人々の活力と交流が育まれており、一人ひとりの豊かさが地域全体の豊かさにつながっています。

安心・安全を感じられる災害に強い都市基盤のもと、身近な暮らしがみどりや水辺に彩られ、誰もが移動しやすく出かけたいくなる、人と環境に優しい持続可能なまちが実現しています。人々が支え合い、触れあう中で、笑顔あふれる板橋の風景が未来へと引き継がれています。

みんなに かけ橋 いたばし創造都市宣言

10年後の未来に向けて、
新たな基本構想が示す将来像にふさわしい板橋区の未来を
デザインするためのまちのあり方が「創造都市」です。

「創造都市」とは、
区民一人ひとりの「創意(アイデアや工夫)」を原動力とし、
それらを掛け合わせることで、
地域に新しい価値やあたたかなつながりを創り出し続ける都市です。

区は「みんなに かけ橋 いたばし創造都市宣言」の理念に基づき、
「絵本のまち」を軸とした共感と参画の輪を広げていきます。
互いの個性を認め合う「寛容性」を育み、文化や産業、
そして世界をつなぐ共創の輪を広げながら、
区民の皆様とともに基本構想の将来像
「未来をひらく 緑と文化のかがやくまち“板橋”」を実現していきます。

1. 人と人との「つながり」を育む

日々の暮らしの中にある一人ひとりの「創意」を尊重するとともに、
そこで生まれる個性を受け入れる「寛容性」が息づく地域文化を育むことで、
誰もが社会とのつながりを実感できる包摂的な環境を整えます。

2. 人とまち、文化と産業を「つなげる」

「人」と「創意」を起点とし、
対話を通じて活動を生み出すまちづくりのプロセスを重視することで、
新たな文化的挑戦を産業振興のみならず、
地域社会の様々な分野へつなげる創造の循環を育み、
持続可能な地域経済の実現をめざします。

3. 世界を「つなぎ」、未来をひらく

住民、NPO、企業、団体など、多様な主体が共創する基盤を整え、
「絵本のまち」を軸とした共感と参画の好循環を創出します。
このつながりから生まれる発信を国際的なネットワークへ発展させ、
そのハブとして地球規模の課題解決に取り組みます。

※全文は、参考資料に掲載します。